

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● 中皮腫判定検査

(依頼コード No.11631)

受託開始日 2016年9月1日(木) 受付分より

日本において石綿(アスベスト)による中皮腫の患者数は2030~2040年頃にピークを迎えると言われております。中皮腫は労災としての認定、或いは環境被害としての認定を受けることにより、その後救済制度が適用されます。その申請、認定には中皮腫であることを積極的に支持する医学的資料を提出する必要があります。

この度、弊社では中皮腫判定に必要な細胞所見及び免疫染色などを実施し、その結果から中皮腫であることを支持する「中皮腫判定検査」の受託を開始いたします。

また、弊社で受託しました胸水材料等の細胞診検査の結果、中皮腫の疑いがある症例につきましては、弊社よりその旨ご案内させていただきますので、追加検査としてご利用いただきますこととお奨めします。

同様に、貴院内で実施された細胞診検査で中皮腫の疑われる症例につきましては、免疫染色のみの受託も可能です。併せてご利用いただきます様ご案内申し上げます。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

依頼コード No.	11631		
検査材料	材料1	材料2	材料3
	体腔液沈渣(胸水, 腹水等) *細胞診染色済標本添付	弊社作製細胞診染色済標本 又は、貴院内作製細胞診標本	セルブロック、又は未染標本 *細胞診染色済標本添付
検体必要量	十分な細胞数が得られること (目安沈渣量: 0.5mL以上)	パパニコロウ標本、ギムザ標本、 及びPAS標本 各1枚以上 (PAS染色は実施済の場合)	未染標本8枚以上 (パラフィン切片4μm)
検査コード No.	① 11632: 中皮腫-セルブロック標本作製 11633: 中皮腫-細胞転写標本作製 ② 11634: 中皮腫-免疫染色セット ③ 11635: 中皮腫-細胞判定 *免疫染色のみご依頼の場合を除く		
容器	滅菌スピッツ管(S-S)、 スライドケース	スライドケース	スライドケース
検体の保存方法	冷蔵(標本は室温)	室温	室温
所要日数	14~21		
検査方法	パパニコロウ染色、免疫染色法		
(参考)	セルブロック作製、(又は提出されたセルブロック) 或いは細胞転写から実施		
報告内容	判定結果: 「中皮腫の可能性が高い」または「中皮腫以外の疾患が考えられる」等 *細胞所見、判定の根拠となる顕微鏡写真画像添付		
保険点数	N004 細胞診 2 穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等によるもの 190点(注1) 3 セルブロック法によるもの 860点(注2) (注1) 2の「穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等によるもの」と3の「セルブロック法によるもの」を併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。 (注2) 悪性中皮腫を疑う患者に対して、穿刺吸引等により採取した検体を用いてセルブロック法により標本作製した場合に算定する。		

【ご提出時留意点】

- 1) 材料1の体腔液、材料3のセルブロックでご提出の場合にも、貴院内細胞診染色済標本(パパニコロウ標本、ギムザ標本、PAS標本)を添付願います。
※弊社で細胞診実施の場合は必要ありません。
- 2) 材料1の体腔液でご提出いただき、細胞数が少数でセルブロック作製実施困難と判断された場合は、ご連絡、ご了解の上、セルブロック作製を中止し細胞転写法に変更させていただきます。
- 3) 貴院内作製細胞診標本に対して検査を実施した場合、パパニコロウ標本の復元、返却はできませんのであらかじめご了承願います。事前に貴院内でミクロ写真等の画像保管をお奨めいたします。

その他、ご不明の点はお問い合わせください。

【参考文献】

亀井 敏昭、石川 雄一、三浦 博太郎、井内 康輝、森永 謙二編著: 「アスベストと中皮腫」; 篠原出版新社
井内 康輝 編著: 石綿関連疾患の病理とそのリスクコミュニケーション; 篠原出版新社
他